

静かに考えるために
時間を作ってみては

*およそ百年前のことですが、1920年代に南米のアンデス山脈の上空で嵐のため飛行機が墜落するという事故が起きました。とてつもなく奥深いアンデスの山中に投げ出されたパイロットはなんとか命だけは助かりましたが、この嵐の中を切り抜けて生き延びることは、ほぼ絶望的でした。しかし、このような困難にも屈せずパイロットは何とかして行き延びようと懸命に歩き続け、三日の後にインディオの村に辿り着き、やっと命が救われました。後になって「どうして諦めなかったのか」と尋ねられた時、パイロットは次のように答えました。「家族や仲間たちは私が生きていたのなら、必ず全力を尽くして歩いている、と信じるに違いないと知っていました。だから自分が救われるためだけではなく、家族や仲間たちの信頼を裏切らないためにも歩き続けました」と。実話であるこのパイロットの経験と言葉を私たちの信仰生活にも当てはめることができるのではないかと思います。

—イエスは「人よ、まったく愛、限らない愛である『父』はあなたを信頼せずにはおられません」と身をもって命をかけて教

えて下さいました。私たちが生きている場でイエスの後について行き、イエスを証しするために努力することができることを神は信じ、期待しています。—「この計り知れない信頼を裏切りたくない」「この信頼に応えてみたい」、新しい年の幕が上がろうとする時にこのように決意することが大切なことではないでしょうか。



—しかし、ペトロがイエスから注意されたように「心は燃えていても肉体は弱い」(マタイ 26章 41) ので、努力をあきらめないために支えとなるものがが必要です。支えとなるものはいくつもあると思います。—神の言葉に耳を傾けること—感謝の祭儀に参加すること—祈ること—などです。この紙面を借りてもう一つに触れてみたいと思います。それは「静かに考えるために、時間を作る」ということです。
*先日、目にした光景ですが、10歳くらいの女の子が犬を散歩させていました。犬は綱を引っ張り続け、前へ前へ走ろうとしていましたが、女の子は一生懸命に犬を引き止めようとしていました。一瞬のうちにこの光景が自分の人生を象徴的に表しているような気がしました。犬のよ

わたし まえ まえ はし
うに 私 も 前へ前へ走ろうとしているので
すが、それと同時に時間も走り、あつとい
う間に年をとってしまうから、女の子の
ようにやはり必死に時間を引き止めたい
のです…。

とき いったいなん じぶん い
このような時に一体何のために自分が生
きているのか。どこへ走っているのか。そ
の中でイエスの位置はどこにあるのか。キ
リスト者、司祭として生きること自体は何
なのかなどを考えるために時間を作るこ
とは非常に大切なことだと思います。



みな とし
=皆さんも、年
の始めに自分
の生き方につ
いて静かに考
えるために

じかん もう すす おも
時間を設けるようにお勧めしたいと思
います。

さまざま りゆう さいきん きょうかい あし はこ
・様々な理由で最近、教会へ足を運ばず、
御無沙汰している方々、主イエス・キリス
トの方に心を向け、考え直し、もう一度
信仰に生きるように努力してみませんか。

きょうかい き たいくつ さんか
・教会に来てても退屈そうに参加し、ただ
お客さんみたいになりがちな方々、支え
合う温かみのある共同体作りに、もう
一度協力してみませんか。

しゃ い きょうどうたい
・すでにキリスト者として生き、共同体の
ために尽くしている方々—力を合わせて
より一層、共同体の輪を広げるように
社会の中でイエスがもっと知られるよう
にもう一度初心に戻り、工夫するように励
んでみませんか。

わたし つね み ゆめ
～私は常に見る夢があります。それは
ゆくはし とよつ
行橋・豊津においてイエス・キリストによ
って兄弟とされた私たちが、同じ信仰の
うちにあらゆる違いを越えて分かち合う
心を抱き、赦し合い、心地の良い、心の
ふるさとのような共同体を築き上げるこ
とです。魅力を放つこのような共同体の
おかげでずっと占星術の学者に継いで
行橋・豊津の住民からもイエスに辿り着
く人々が現れるでしょう。

かんが だれ はや だれ
・考えてみれば、誰よりも早く、誰より
も強く人類に対してこのような夢を抱い
たのは「父」であり、愛なる神ご自身です。
この神の夢は私たち一人ひとりにとって
絶え間ない呼びかけになっていると私は
確信しています。神の信頼と期待を裏切る
ことなく、神からの呼びかけに喜びと
希望のうちに応えるように努力しましょ
う。



しんねん うつく はな さ とし
—新年は美しい花を咲かせる年になりま
すように心からお祈り致します。

みな あ
皆さん、明けましておめでとうございます。